

# 「ブラザー工業の環境教育を考える」 (2007年3月8日開催)

## ブラザー工業 エコレポート 2006 紹介

2006年7月に発行した「エコレポート 2006～ブラザーと環境のはなし。～」を使用して、ブラザーグループの環境への取り組み概要をご紹介します。

■エコレポート 2006

[http://pub.brother.co.jp/pub/jp/csr/pdf/eco\\_report2006.pdf](http://pub.brother.co.jp/pub/jp/csr/pdf/eco_report2006.pdf)



エコレポート 2006



## ブラザー工業 環境フィールド見学

夏場の屋内温度の上昇抑制とヒートアイランド現象の軽減効果を狙う、ブラザー工業本社の屋上緑化庭園および瑞穂工場屋上にて 2002 年より稼働させている太陽光発電システムのパネルを見学していただき、ブラザーグループの取り組みを、じかに確認していただきました。

また、ブラザーについての理解を深めていただき、その後のグループセッションにて、よりよい意見をいただけるよう、ブラザー コミュニケーション スペース(BCS)もご案内しました。



ブラザー工業本社の屋上緑化庭園



## グループ セッション

### 「ブラザー工業環境教育実践に向けての提案」

四つのグループに分かれ、以下の2テーマについて、それぞれディスカッションを行い、発表していただきました。

**テーマ1:ブラザー工業が実践する環境学習プログラムと実践方法は?**

～ブラザー工業の持つリソースを活用して～



ダイアログの様子

<グループごとにまとめられたご意見>

- ・ブラザーのミシンを使って、不要となった衣類から親子共同でバッグをつくる。
- ・環境に取り組む情熱的な人を中高生が訪ね、インタビュー(インタビューエコツアー、若者のエコフォーラム)。
- ・職場体験(企業や環境 NPO の仕事を体験してもらう)。
- ・子どもたちに、製品の省エネについて体験してもらう(BCSにて)。
- ・テレビ電話などを使って、モノ創りの現場をグローバルに見学できるようにする。
- ・原料から製品となるまで(できれば廃棄まで)の旅。
- ・ブラザー工業の屋上庭園で、写生大会を開催。
- ・幼稚園、保育園と一緒に、ブラザー工業屋上の緑化庭園をバージョンアップさせる(虫や鳥などが集まる庭をつくる)。
- ・瑞穂工場の太陽光発電を実感してもらう(太陽光発電で動くものを持っていき、実際に動かしてみる)。
- ・「エコ探検隊!」。ブラザーの屋上緑化や BCS などから、自然や環境によいものを探し、マップを作成。完成したマップからは、ブラザーと地域の自然のつながりを知ることができるように。

テーマ 2:この地域の環境教育を豊かに展開するためのブラ  
ザー工業(企業)の役割とは？

～この地域の環境教育の仕組みづくりに向けて～

<グループごとにまとめられたご意見>



グループ発表の様子

- ・エコスペシャリストの育成(他企業や NPO とともに、体験型のセミナーなどで)。
- ・「もの創り教室」を開催(製品を分解し、どんな部品でできているか、リサイクルできるものとそうでないものを知る省エネ効果を実感させるなど)。
- ・「環境」というメッセージを基軸に、瑞穂地域で世代を超えた交流を支援する(問題意識を持つためのセミナー → ブラザーのミシンを使ってマイバッグを制作し、商店街に買い物に出かける → 太陽光パネルに触れる → 地域のおじいちゃん・おばあちゃんから、モノを大切にすることを学ぶ、といった一連のプログラムを実施)。
- ・「ほりたみんなのモノづくり会議」を開催(子どもたちから「こんなものをつくりたい」というアイデアを募集し、そのアイデアを実現させるための施策を皆で話し合う)。